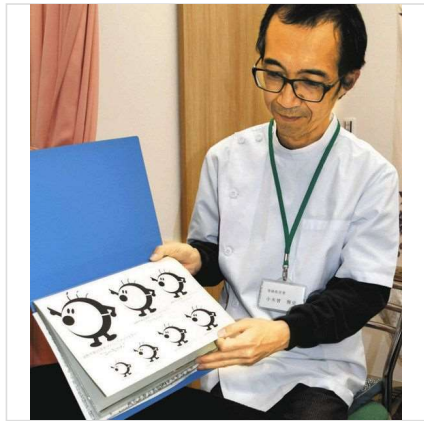


「コーちゃん」愛され30歳 湖西市は新キャラ募集検討

2022年1月25日 05時00分 (1月25日 10時07分更新)



「コーちゃん」をデザインした20歳ごろの思い出を振り返る小木曾雅史さん＝湖西市ときわで

私は一九七一年十一月生まれで、七二年一月生まれの湖西市とは「同学年」。一緒に成人を祝おうと、軽い気持ちで応募した。絵画教室に通っていたことはあるが、デザインは素人。なじみのあった市章に手足や顔を付け、明日に向かって躍進する湖西市をイメージした。髪の毛三本で愛嬌（あいきょう）、ユーモア、浜名湖名産のウナギを表現。当初案では、若々しいイメージとしてスニーカーを履いていたが、デザインの都合で変更された。

湖西市制二十周年（一九九二年）を記念して誕生し、市内各所で姿が見られる市のキャラクター「コーちゃん」＝イラスト。三十歳を迎えた市制五十周年の今年、市の記念ロゴマークに採用される一方、市では別のPRキャラクターの募集を検討し、コーちゃんの今後の動向が注目される。デザインを考えた薬店・鍼灸（しんきゅう）院経営、小木曾雅史さん（50）＝同市駅南＝に、考案当時の思い出やキャラクターにかける思いを聞いた。（聞き手・鈴木太郎）

ーキャラクターデザインに応募した経緯は

ー当時の市広報によると、全国から九十六点が寄せられた。最優秀に選ばれた感想や、当時の反響は

遠くは関東や京都からも応募があったと知り、自分が一番でいいのかと驚いた。キャラクターの採用がきっかけで、九二年の成人式で抱負を話す代表三人のうちの一に選ばれ、さらに良い記念になった。父のあだ名が「コーちゃん」。デザインと名称は別の募集で偶然の一致ではあるが、昔はよく近所の人に声を掛けられた。

ー「三十歳」になった今も、現役で活躍しているコーちゃんを、どのような気持ちで見守っているか

応募した時は二十周年の一年限りの登場だとばかり思っており、ここまで息の長い活躍をするとは考えていなかった。五十周年のロゴマークでも取り上げてもらい、感謝している。長期間愛用してもらってありがたい限り。

ー市の五十周年記念事業で、コーちゃんに続く新たなPRキャラクターの募集が始まる。「ライバル」の出現をどう受け止めるか

生まれ育ち、暮らし続けているまちで三十年間も使ってもらった。もしコーちゃんが消えてしまっても思い残すことはないが、新キャラクターと敵対することなく、仲良くやってもらいたい願いもある。

関連キーワード

静岡

中日新聞のご購読案内

便利な中日プラスサービス
中日新聞購読者は会員登録無料!

中日新聞しずおか
の記事はこちら



静岡の「中日新聞」は
東海本社（浜西市）で編集・発行しています

地域の取材網 情報提供はこちらへ



浜岡原発停止10年

東海 新型コロナニュース

中日新聞しずおか（ふーちゃん）
@chunichi_tokai

「コーちゃん」愛され30歳 湖西市は新キャラ募集検討：中日新聞しずおかWeb
chunichi.co.jp/article/406119

デザイン考案者の小木曾さんは、湖西市と同じ50歳。コーちゃんと「同年代」の、今年で30歳を迎える記者が話を聞きました。

「コーちゃん」愛され30歳 湖西市は...

イベント情報 もっと見る

ランス美術館コレクション
風景画のはじまり
コローから印象派へ
1月23日まで静岡市美術館で開催中

おでかけガイド

東海本社後援申請